

新型コロナウイルス感染症予防について

新型コロナウイルス感染症に対応する緊急事態宣言、特別保育が解除され、少しずつ通常の生活に戻っていきます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではないため、再度の拡大に備え、園でも感染予防策を講じ保育をしていきます。保護者の皆様にもご理解、ご協力頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

●各ご家庭にご協力していただきたいこと

- ・発熱（37.5度以上）、咳等のかぜ症状がある場合は自宅で休養して下さい。
- ・子どもが発熱した際、解熱後、24時間以上経過してから登園します。
- ・保護者の方に発熱、風邪の症状がある場合は、送迎をご遠慮ください。
- ・保護者が園に入られる際、手指をアルコール消毒して下さい。マスクの着用をお願いします。
- ・保護者の方は保育室には入室しないようお願いいたします。園庭またはテラス（分園は玄関ホール）で保育者が対応します。お困りの際は遠慮なくお声がけください。
（園児の登園数が増えるまでは上記の方法で対応していますが、通常に戻った後は状況を見て判断）
- ・登園前・夕方に家庭で健康観察、検温し、登園時に「健康観察チェックシート」に必ず記入して下さい。検温記録は前日夕方、当日朝の両方をご記入ください。
- ・園において子どもの体調を観察し、機嫌や食欲等で体調の変化、健康観察を丁寧に行います。登園後に発熱（37.5度以上）や普段と様子が違うなどの体調の変化がみられる場合は、お迎えをお願いします。
- ・保護者の方は、「健康観察チェックシート」等を記入するためのペンをできる限りご持参ください。お持ちでない場合は、未使用のペン立てのものを使用し、使用済みのペン立てにお戻し下さい。
- ・お子さんがマスクを着用する場合は、外したマスクを入れる袋を持参させるようにしてください。園児自身で管理できるよう、各家庭でお伝え下さい。（マスク、袋共に記名お願いします）熱中症が心配される場面では安全を考慮し外して過ごすこともあります。ご了承ください。
- ・送迎時、保護者の方が園に滞在する時間はできる限り短くなりますよう、ご理解ご協力をお願いします。

お子様や同居の家族の方などが感染者になった場合や、保健所から濃厚接触者と特定された場合は、園へご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症に関することで不明なことがあれば、いずれかに相談して下さい。



○神戸市保健所 新型コロナウイルス専用健康窓口 322-6250（24時間受付）

○東灘区保健センター 841-4131（平日 8:45～17:15）

○かかりつけ医

●園生活での配慮

○生活全般での配慮

- 部屋の換気をこまめに行い、空気清浄機を使用します。室内ではできるだけ少人数で過ごしたり、子どもが長時間密集しないようできるかぎり配慮して過ごします。
- 園庭、テラスなど屋外で過ごす時間が多くなるよう遊びを計画します。
- 園児等がよく触る場所（ドアノブなど）、おもちゃの消毒、食事時の机、椅子などの消毒を毎日行います。
- 手洗いを丁寧に行います。（石鹸液を用いて）自分で行うのが難しい園児は、保育者が手伝いながら行います。年齢が高いクラスは、手洗いうがいを丁寧に行うよう伝え、一緒に行います。その他くしゃみをするときには、“片腕で防ぐ”“体調の変化を言葉で伝える”よう子どもたちに伝えていきます。

○食事・おやつ・午睡等の配慮

- テーブルにつく人数を減らし、空間を確保し、飛沫感染を予防するために、座る位置にも配慮します。一斉に食事を行わず、時間をずらして食べる等の工夫や配慮もできる限り実施していきます。
- 子どもが配膳等を手伝う当番活動、バイキングスタイルは、飛沫感染を予防するために、夏頃までは行ないません（以後は状況を見て判断）
- 午睡中も換気を行い、午睡時は隣り合う子ども同士の顔と顔が近づくことのないように配慮します。
- 0, 1, 2 歳児の午睡用コット（簡易ベッド）はタオル交換の際には消毒します。3, 4 歳児の布団の持ち帰りについては、月一回設定していますが、必要な方は事前にお声がけ頂ければ週末にお持ち帰りいただけます。
- 排泄物からの感染もありうるので、オムツ替えの際には保育者が感染媒体とならないように、マスク、手袋を着用します。取り替えたオムツはその都度ふたつきゴミ箱に入れます。

○行事

- お誕生会、花の日礼拝等の子どものみで行う行事は、クラス・グループ単位で行ないます。（以後は状況を見て判断）花の日の訪問は行ないません。
- 保護者参加行事（保育参加等）は夏頃までは行ないません。（以後は状況を見て判断）
- 交通手段が必要な園外保育については、夏頃までは行ないません。（以後は状況を見て判断）
- その他行事（運動会、お祝い会、フェスティバルなど）の内容、実施方法の見直しをしていきます。
- 感染症の流行の兆しが見られる場合は、状況に応じて延期や中止を検討します。

○遊びの内容

- ふれあい遊びは内容を吟味し、顔が近づくものは避けます。
- 遊ぶ時は手をつなぐ場合もありますが、活動の後には手洗い、うがいをします。
- 歌う活動を行う場合は、間隔を十分に開けて行います。
- 鍵盤ハーモニカは飛沫感染を予防するため、夏頃までは遊びに使わない。（以後は状況を見て判断）
- 4, 5 歳児など年齢の高いクラスでは、子ども同士との間隔を空けて並ぶなど、遊びの中で伝えていきます。